

かぶせ茶の生産振興

農業技術センター足柄地区事務所

実施期間：令和4～6年

課題・目的

■当所では、足柄茶のトップブランドの原料(荒茶)とする「かぶせ茶」※作りを支援しているが、品質規格を充たした令和4年産の荒茶の生産量は、約7割にとどまっている。

■産地からは品質向上および生産量の増加が望まれていることから、栽培技術の支援により、品質規格を充たす荒茶の割合を高め、また、生産者の収益を増やす。

※「かぶせ茶」とは、茶樹の上を寒冷紗などで被覆して遮光・保温することにより、うまみや甘味が強く、葉の色が濃い、品質の高い緑茶の一つ。

活動内容

■生産者に対して、講習会や巡回指導を通じて、「かぶせ茶」生産園の選定や、被覆と摘採の適期、肥培管理について指導した。

■被覆日数を10日間以上確保することや、早めに良質な芽を摘むことなどの指導により、令和5年産は品質規格を充たした荒茶の割合が約9割に向上した。

■生産者11名が「かぶせ茶」を生産する被覆栽培を導入し、令和5年産の集荷量は、令和4年産に比べて約3割増加し、生産者の収益が向上した。



今後の展開

■引き続き、「かぶせ茶」の品質規格を充たすポイントを指導し、生産者の収益向上を支援していく。

■JAかながわ西湘では「かぶせ茶」生産のための被覆資材を助成しているため、JAと連携して新たに組み込む生産者の増加を図っていく。